



## 【私たちの願い】

- ①よろこんで与える人間となろう  
 ②いのちを大切にする人間となろう  
 ③こころ静かに考える人間となろう  
 ④使命に生きる人間となろう  
 ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

令和6年度に向けて

園長 宮脇 景子

令和6年度がスタートしました。新たに職員が6名増員しました。

昨年度は、全職員の努力と協力のおかげで数多くの挑戦ができました。上手くいったことは継続し、上手くいかなかつたことは、原因を知り対策を考えていきます。そして様々な特性を持った子どもたちが集団生活を送る中で、安心・安全で、温かな施設生活を送れるよう支援していきます。

そのためには、一人ひとりが自分の役割を理解し、全力を尽くす必要があります。私たちは児童心理治療施設の職員として社会的養護の重要な分野を担っていることを再度認識し、専門性の向上に努め、子どもたちへの支援に取り組んでいかないといけません。そして職員一人ひとりが自身の成長を実感できるようにしていきます。

子どもと職員のスキルアップと成長を促進し、新しい挑戦を恐れず、常に学び続けることができる環境を提供していきたいと思います。





3月6日に、日本舞踊の先生方がお雛祭り会を開いてくれました。お茶立ても体験し美味しい生菓子もいただきました。

最初は、先生方がお茶を立てるプロの技を見せていただきました。お茶をいただく際には、丁寧に作法を教えてくれました。また、それがどのような意味を持っているのかも解説してもらうと、興味深そうに聞いていました。いつもは外で元気よく動き回っている子どももお茶立ての場では、場の雰囲気を察してか、静かに礼儀正しく飲んでいました。

お茶立て体験では、実際にお茶を作り、子どもの前まで運びました。初めは、少し濃かったり、薄かったりと先生方が作ってくれたお茶と少し味が違っていましたが、何度も作っていくことで、徐々に丁度良い味に近づけることが出来ました。先生方の腕前を実感しました。

参加してくれた子どももいつもの雰囲気とは違い、新しい側面を発見する場になりました。開催してくれた日本舞踊の先生方にも感謝しています。

## 高校受験



受験生は卒業後の進路について真剣に考え、それぞれの新たな道を切り拓くために、高校受験に挑みました。分校の先生にも協力をしていただき、放課後に居残りや面接練習を頑張りました。

卒業後の進路はそれぞれですが、各々が新しい場所で自分の強みを最大限に生かし、夢に向かって一生懸命頑張って欲しいと願っています。



3月19日に下笠居小学校五色台分校卒業証書授与式が行われました。

今年度は1人だけの卒業式でしたが、分校教員や保護者さん、若竹学園の職員も参加し、思い出に残る卒業式になりました。入所した頃の小さかった背中が、こんなにもたくましくなり成長を感じました。在校生4人から1人ずつ卒業生に向けて、手紙を書いて読みあげました。たくさんの「ありがとう」の言葉が伝えられていました。そのことからも、今まで下級生に優しく関わって頼りにされていたんだなと改め



て感じました。

スライドショーで入学してからの思い出を

振り返りました。最後に在校生から卒業生に花束を渡しました。嬉しそうに自分の部屋に大切に飾っていました。

子どもたちの成長に感動し、涙が溢れました。



中学生になっても色々なことに取り組んで、たくさんの思い出を作りたいです。

## マラソン大会



3月16日は、かがわアライアン SDGs リレーマラソンに参加しました。今回は、高校生・中学生・小学生の男女混合で子ども4人・職員1人の2チームで構成しました。大会のレベルはとても高く、他の参加者は物凄いスピードで走っていたので時計で計ってみると1周を4分台で走っていました。我々は、15kmを交代で協力して自分のペースで走り完走することができました。大きな声で応援し最後のランナーと一緒にみんなでゴールしました。

去年は1周しか走れなかつた子どもが、今年は3周を走り切ることができました。1周1周を懸命に走る姿や、練習では上手くいかなかつたタスキ渡しを、頑張っている様子を見て、とても感動しました。

また、来年も参加するぞ----！！



また、女性職員へも日頃の感謝を込めてお菓子を渡しており日々の生活ではなかなか伝えづらい感謝の気持ちを素直に話させていた様子が見られて子どもたちの成長も感じました。

## 3月行事

6日	ひな祭り(お茶会)
7、8日	高校受験
14日	ホワイトデー
16日	マラソン大会参加
19日	下笠居小学校五色台分校 卒業式
29日	避難訓練

### 在籍人数

令和6年3月28日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	1	5
中学生	8	2	10
高校生	2	0	2
合計	14	3	17

### 編集後記

新緑の候、心地よい季節となって参りました。3月といえば出会いと別れの季節です。学園からも数人の園生が巣立って行きました。次の場所でも胸を張って自分らしく生きていってもらいたいと心から願います。

山西

### 第449発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子



# 五色台分校だより

## 大谷選手のグローブ

大リーグ、ドジャースの大谷選手から日本中の小学生にグローブが贈られました。グローブは右利き用が2つ、左利き用が1つの計3つのグローブが届きました。

本校でもグローブを受け取ったその日から、早速、野球を始めました。大谷選手のように変化球を投げてみる子供たちもいました。大谷選手のようなプロ野球選手が、本校から生まれることを楽しみにしています。



## 調理実習の授業

中学校で調理実習を行いました。今回はフレンチトーストと蒸しカップケーキを作りました。男子も女子も慣れない手つきで調理を行いましたが、一生懸命に取り組み、とても美味しいフレンチトーストと蒸しカップケーキができました。

調理後、みんなで食べましたが、中学生が小学生にまでごちそうしてくれて、みんなで仲良く、楽しい時間を過ごすことができました。



## 座禅体験

喝破禪道場で座禅体験を行いました。足を組み、背筋を伸ばし、心を落ち着かせての座禅に、初めは戸惑ったりしましたが、最後までしっかりと頑張ることができました。

心静かに座禅を組むことで、自分自身を見つめ直すことができたのではないかと思います。ここでの体験を、これから的生活の中に生かしてほしいと思います。



## 小学校卒業式

小学校で卒業式が行われました。五色台分校の先生、若竹学園の職員、児童相談所の職員、保護者など、多くの方が参加してくださいました。卒業式では、在校生が卒業生に応援の言葉を述べるとともに、卒業生も在校生や先生、職員の方々に感謝の言葉を述べ、とても感動的な卒業式でした。

